

四日市版コミュニティスクール報告書（平成30年度総括）



四日市市立川島小学校

校長 加藤 剛

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

川島小学校の学校教育目標「仲間と共に成長する子」、めざす学校の姿「安心して学ぶことができる学校」の実現に向けて地域の方、保護者に学校運営に参画していただき、学校運営について協議しながら、学校教育活動の充実に向けて取り組みをすすめていきます。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) コミュニティスクール運営協議会について

運営協議会は、昨年度までの学校づくり協力者会議を母体とした発展的組織として自治会代表、民生委員、主任児童委員、図書館ボランティア（ブックママ）代表、PTA 役員、地区市民センター館長の 11 名で組織し、年間 5 回程度の運営協議会を開催し、保護者や地域住民の学校教育活動へ参加のあり方について協議するとともに、教育活動や教育環境の具体的な改善を図り、学校づくりビジョンの達成を目指していきます。

(2) 教育活動の実践事例

①学習支援活動

【こども未来塾】

夏季休業中の学習支援として、「こども未来塾」を運営協議会が主体となり、開催しました。3年生以上の子どもたちが、参加しました。地域の方や大学生ボランティア、中学生がボランティアとして参加していただき、子どもたちの学習保障の機会となりました。

【農業体験】

5年生の社会科の学習活動の一環として、地域の方や保護者ボランティアとともに田植え体験を行いました。田植えの後は、かかし作りに取り組み、地域の夏祭りに出品しました。そのかかしを学習田に立てていただき、稲を守ることができました。二学期には稲刈りをボランティアさんとともに、農家の人々の苦労について思いを寄せることができました。

【防災土鍋体験】

県防災協議会の方や川島地区防災協議会、保護者の方のお力を借りて、災害の怖さや備えについて教えていただき、土鍋でご飯を作る体験を行いました。この学習を通して、自助、共助の大切さについて考えることができました。

【福祉体験学習】

四日市市社会福祉協議会の協力を得て、総合的な学習の一環として福祉体験学習に取り組みました。身体や聴覚、視覚



に障がいのある方から話を聞き、実際の生活の様子を知ること、社会参加するためには、周囲の人の助けが大切であることを改めて知る機会となりました。



【子ども見守り隊】

子どもたちの毎日の登下校を見守っていただいている子ども見守り隊の方から話を聞くことで、見守り活動の目的を知ることができました。学年末には、自分たちの安全を守っていただいていることに感謝の気持ちを集会で伝え、感謝状を渡しました。子どもたちが安心して登下校できることは、地域の方に支えられているおかげであることを考えることができました。

【鹿化川千本桜保全活動】

川島地区の誇りともいえる鹿化川千本桜は、春になるときれいな桜を咲かせ、たくさんの方が訪れます。鹿化川の千本桜は、子どもたちにとっても、地域の方にとっても大切な川島地区の財産となっています。そのきれいな桜を咲かせるために、ボランティアの方といっしょに施肥作業をさせていただきました。子どもたちが千本桜の保全活動を行うことで、子どもたちにとっても川島地区を誇りに思えるようになったことと思います。

また千本桜音頭をいっしょに踊ったり、話を聞かせていただいたりすることにより、地域の人々の川島地区の自然を大切に
する思いを知ることができました。



【ラジオ体操講習会】

運動会に向けて、ラジオ体操の指導に取り組みました。若手教員も多く、正しくラジオ体操を知るために、四日市市のラジオ体操協会の方にお越しいただき、研修会を開催しました。教員が体操のポイントを知ること、子どもたちへ指導に活かすことができました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

本年度、コミュニティスクールの指定を受け、運営協議会を発足しました。11名の委員の方々から学校教育活動や学習環境に対して、さまざまな視点からのご意見をいただきました。年間5回の運営協議会では、音楽集会や6年生を送る会、オープンスクールなど子どもたちの様子を参観していただき、学校づくりビジョンの達成に向けての理解を深めていただきました。また運営協議会でいただいた意見を職員に伝えることで教育活動の改善に努めてきました。

【アンケート結果】

児童アンケートでは、「授業がわかりやすいですか」の肯定的な回答は96%、「学校は楽しいですか」の肯定的な回答は97%となっています。保護者アンケートでは、「基礎学力向上のため、分かりやすい授業づくりに家庭学習の定着に取り組んでいる」の肯定的な回答は、94%、「いじめや差別

を許さない態度を育て、人権や個性を尊重する教育が進められている」の肯定的な回答は、94%となっています。地域に開かれた学校づくりでは、「各種通信や HP など、学校や子どもたちの様子を分かりやすく伝えている」の肯定的な回答は 96%、「保護者、地域の人々に授業を公開し、開かれた学校づくりに努めている」の肯定的な回答は 99%となっています。職員のアンケートでは、「各種通信や HP など、学校や子どもたちの様子を分かりやすく伝えている」の肯定的な回答は 95%、「保護者、地域の人々に授業を公開し、開かれた学校づくりに努めている」の肯定的な回答は 97%となっています。

昨年度の肯定的な回答と比較してみても、数値的にはあまり変化は見られませんが、保護者の「地域に開かれた学校づくり」の 2 項目では、「十分」という回答が約 10 ポイント上昇しました。コミュニティスクールの指定を受けることで、学校と地域が連携して取り組みをすすめていることが評価されていることが考えられます。

【子どもたちの変容】

各学年で地域のゲストティーチャーを招くことにより、地域の生の声を聴かせていただき、学習をより深めることにつながりました。地域の方とともに活動に取り組むことにより、たくさんの方が地域をよくするために活動していることを改めて知る機会となりました。子どもたちにとっても、地域をよくするためにがんばってくれている方がいることで、自分たちも地域のため、人のために何かできることはないのか、考えることができました。

【教師の意識】

総合的な学習の時間など、活動を考える上で、地域の方との協働的な学びを模索してきました。人との出会いを取り入れたり、地域の人材を効果的に活用したりできたので、学習効果が高まりました。

3 今後に向けて

今年度四日市版コミュニティスクールの指定を受け、取り組みをすすめてきました。本校は三滝中学校区にあり、三滝中学校も今年度より運営協議会が発足しました。運営協議会委員が小中の委員を兼ねていることから、中学校区の連携を深め、取り組みを広めることでより地域に根差したコミュニティスクールが確立されると考えられます。また小中一貫した取り組みをすすめることで、中学校区として 9 年間の学びを保障するためにどのような活動をしていくべきなのかを検討し、取り組みを進めていきたいです。

今後も運営協議会で協議をしながら、地域の教育力を活かし、教育活動の充実を図っていくとともに、学校教育ビジョンの達成に向けて、学校運営に取り組んでいきたいと考えています。

別紙B

平成30年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立川島小学校

委員長 小川 泰雪

校長 加藤 剛

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		・授業参観
5	第1回運営協議会	・委嘱状手交 ・コミュニティスクール運営要綱、運営に関する細則について ・委員の役割について ・学校づくりビジョンの承認 ※ラジオ体操講習会 農業体験活動開始
6		・運動会参観
7		・こども未来塾（夏季休業中補習活動） ○四日市版コミュニティスクール運営協議会委員研修会参加
8		○学校づくり推進フォーラム参加（和歌山会場）
9	第2回運営協議会	・一学期のふりかえり ・こども未来塾について ○地域学校協働活動推進のためのコーディネーター養成講座参加 ※千本桜保存会体験活動（1年・4年）
10		
11	第3回運営協議会	・音楽集会参観 ・二学期の取り組みについて ・学習ボランティアについて ○四日市版コミュニティスクール委員長会議 ※食育講演会（就学時健康診断にて）
12		○学校づくり推進フォーラム参加（東京会場）
1		※福祉体験活動（5年・4年） ※子ども見守り隊講演会
2	第4回運営協議会	・学校関係者評価 ・学校協働ボランティア実施要項 ※福祉体験活動（3年） ※子ども見守り隊表彰式、千本桜保存活動（4年） ○地域学校協働活動推進のためのコーディネーター養成講座参加
3	第5回運営協議会	・来年度活動計画 ・来年度運営協議会委員について